

【特色ある学校づくり・環境教育】

～キャリア教育を通して～

守谷市立御所ヶ丘小学校

1 はじめに

本校では、特色ある教育活動を生かして「思いやりの心、生きる力を育てるキャリア教育」を研究テーマに掲げ、教科、領域、特別活動の全般から教育活動を計画し、実践してきた。知識理解力に優れた本校児童の課題は、これらの活用面の弱さにある。そこで、友達のため、自分のためといった「思いやりの心」を育てること。そして獲得した知識を活用しながら思考・判断・表現していく場面を作り出し工夫することでさらなる学力向上が図れるであろうと考えた。よって、「自立」を目標とするキャリア教育を通して「豊かな心」の育成を図り、獲得した知識を育てる実践を進めてきた。

2 実践

(1) 学び合い

① 交流授業

国語の異学年による交流授業を実施。2年生の国語「おもちゃづくり」で、1年生に対して手作りのおもちゃを作成し、作り方、遊び方について説明原稿を用意し、楽しく遊ぶ活動を行った。1年生を楽しませることを目標においた言語活動の充実が実践された。



② 授業の中で、ペア、グループ、全体による話し合い活動を積極的に取り入れ、算数の解法の検討や国語の情景把握や心情理解を追求した。友達との意見交換を活発にすることで「気づき」の共有や課題解決の糸口をつかむことができ、協働的な授業の良さを体感できた。

③ インクルーシブ教育システム

通常学級内の発達障害の可能性のある児童を対象として合理的配慮の方法や保護者との関わり方について実践授業や研修を実施。他学級の担任も参観することで、課題の共有や効果的な合理的配慮について共通認識が図られた。

(2) ソーシャルスキルトレーニング

友達とのコミュニケーション能力を高め、学級における絆づくり、個人個人の思いやりの心の育成をねらいとして実施した。朝夕の短学活、学級活動で、あいさつのスキルトレーニングを計画的・継続的に実施した。ロールプレイやスキルゲームを通して徐々にではあるが、あいさつを積極的に行う児童が増えるとともに、学級内でのトラブルが減り友達を思いやる行動が多くなった。授業中のグループ活動や全体の話し合い活動で意見を発表する児童が増えると共に友達の意見を傾聴する児童が増えた。

(3) キャリア教育講演会

「夢の実現」に向けての熱意や努力について、映像や実技を交えながら具体的に語っていただいた。いずれも5・6年生対象で講演会を実施した。

① プロサッカー選手による講演会

ヨーロッパで活躍するプロサッカー選手を招聘し、サッカーとの出会いやサッカーに対する情熱を高めるきっかけ、プロサッカー選手になるための日々の努力などわかりやすく実技を交えながらお話しいただいた。また、1～4年でも体育のゲストティーチャーとしてサッカー教室を実施し、プロサッカー選手の技の妙技を見ることができ貴重な体験ができた。



② 若手起業家による講演会

昨年に引き続き30代前半の若手起業家3人による講演会とディスカッション形式の分科会を実施。夢や希望を持つことの大切さ、その実現に向けての厳しさと困難についていかに乗り越えていくか実現途上にある今の率直な気持ちを聞くことができ、児童達は自分の将来について考えるよい機会となった。



(4) 勤労体験活動

① 5年生による米作り体験

大井沢小学校、松前台小学校の5年生と協働での立沢里山公園での米作り体験を実施。ボランティアの方々の指導を受けながら、水田作り、田植え、除草、稲刈り等の体験活動を実施。社会科の学習として、また、中学校区内の小小連携の取組として有意義な活動ができた。



② 黙動による清掃活動

4月より全校一斉に清掃時の黙動を行ってきた。指示や相談など必要なこと以外は一切話すことなく作業に専念することを目指した。結果としてはあまり定着せず、今後の指導改善が必要である。

(5) 遊びを通した異学年交流

水曜日のロング昼休みを利用して月に2回程度年間を通して他学年と一緒に遊ぶ活動を実施。40分間の活動時間があるので、組になった高学年がリードして全員遊びを計画。時間内に楽しく遊ぶことができ、以後通常の休み時間に主体的に異学年で遊ぶ姿が増えている。特に6年生が1・2年生と遊ぶ姿が増えている。下学年生は高学年生を頼りになるお兄さんお姉さんとしてあこがれ、高学年生は下学年生を弟妹として慈しむ気持ちが出てきたようになった。



(6) 環境教育

① 落ち葉掃きボランティア

10月より3～6年生の各学年毎に交替で桜や銀杏の葉を掃き取る活動を実施。

特に今年度は、1、2年生もボランティアで参加し、竹箒の使い方を上学年生に教わったり袋詰めの作業を手伝った。

② ペットボトルキャップ集め

全学年で年間を通して実施。呼びかけや管理運営は計画委員会が中心となって行った。

③ アルミ缶回収

P T A主催ではあるが、毎月第2週の火曜日に家庭で出たアルミ缶の回収を行っている。

P T Aの保護者の方2名が回収にあたり、業者に引き取りをしてもらっている。4年生のゴミ処理についての学習に関連づけてリサイクル事業の一つとして取り組んだ。自分で実際に缶をつぶし小さくまとめる作業を行うので、



楽しみながら意欲的に活動できた。

3 まとめ

キャリア教育を通して「学力向上」「豊かな心の育成」を目標に様々な取組を行ってきた。授業では、話し合い活動の機会を意図的に増やし内容を工夫改善したことで、友達と関わり合いながら学び合う活動ができた。また、種々の体験活動でも必ず人との関わりを意識した活動にしたことで児童の人間関係力の強化につながった。環境面では、「公園里親事業」として、学校前歩道の清掃や花壇整備、校内花壇の除草・苗植えを通して勤労観の育成を図った。

今後の課題としては、実態に応じて時と場所、相手の立場など様々な状況に対応したい。いさつやコミュニケーションがとれるようにするなど活動内容を見直していきたい。